

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	バジャー	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.570	△RG	0.041	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：バジャー

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

比較対照ボール：ハニー・バジャー

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工

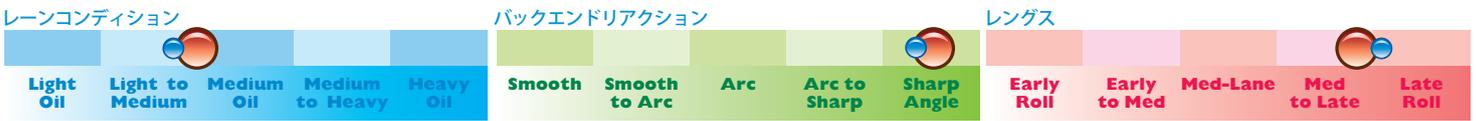
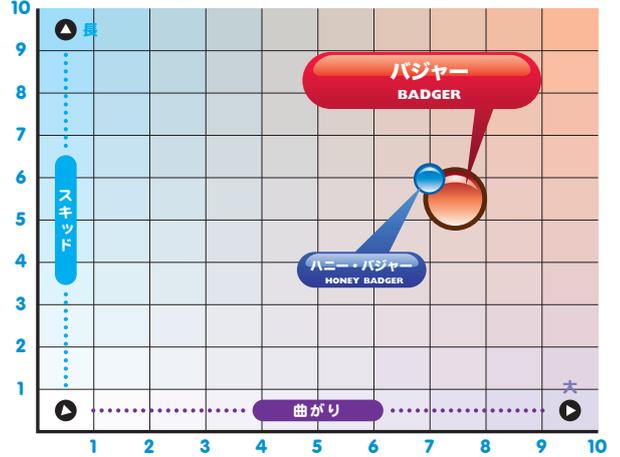
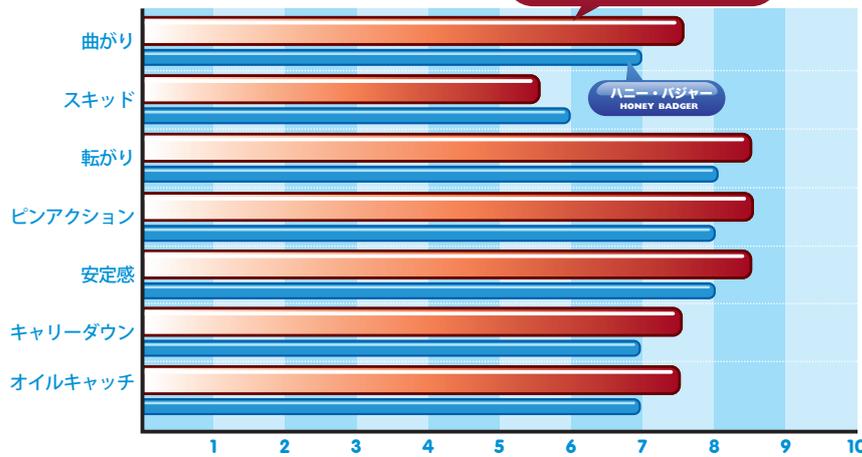
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

DRIFTからはじまり、2017年のHony Badger、900Global社のMediumコンディションの要であるTour Preferred 700 Series。PWBA ルーキー・オブ・ザ・イヤー に輝いた ダリア・パヨクンの動画で一気に900Global社の着目度が急上昇されましたが、その動画で圧倒的なキレを魅せていたのがHony Badgerです。今回はHony Badgerと用途と目的を変えたスペックのBadgerの発売です。

S71™Hybrid CoverstockはHony BadgerのS71 Pearl Coverstockをやや強めたHybridバージョン。Core TechnologyはGrapnel™ AsymmetricからLacerate™Symmetricと非対称コアから対称コアへと変更され、同じTour Preferred 700 Seriesでもしっかりとパフォーマンスを変えて仕上げてあります。Hony BadgerとBadgerを比較投球してみるとS71でもやはりHybridとPearlの差はキャッチに現れ、BadgerのHybridのほうがスキッドはやや短く感じます。しかしS71 Coverstock自体があまり強めには感じないので、掴み過ぎることもなければ、どちらかというHybridもPearlもどちらも走る傾向は変わりません。しっかりとパフォーマンスを見極めるためにMediumコンディション以下で投球してみると、カバーストックの差よりもコアの影響が強めに出るようです。BadgerのLacerate™Symmetricは先での動きが最も着目でき、Hony BadgerのGrapnel™ AsymmetricはMidでの動きが少し入りながら、それでも先の動きが強く出ています。この二つのリアクションの差はコンディションにより使い分けが可能で、用途にあわせ使い分けして頂くのが良いでしょう。私の場合はHony BadgerよりもこのBadgerの方がオイルに対しての安定感もありますし、先でのキレル動きも十分期待できます。対称コアですのでシンプルにレイアウトしやすい利点も選ばれる理由の一つとなるでしょう。

特記事項

Badger™は、人気が高いHoney Badger™のフォローアップです。動きはHoney Badger™と非常によく似ています。最も大きな違いは対称的なコアです。これにより、Badger™はHoney Badger™よりもフックポテンシャルが高くなっています。